

被災した水産食品製造会社に対する再生支援、 販路拡大支援

(宮古信用金庫)

【概要】

震災により工場・事務所、機械設備等全て流失、(株)東日本大震災事業者再生支援機構の債権買取支援、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業を活用し事業再開。岩手県よろず支援拠点と連携による経営体制の見直し、ものづくり補助金を活用し新分野（油脂製造業）への事業拡充を実施。

背景と経緯

事業者は三陸産わかめ、昆布を中心に味付けした加工品（おつまみ、漬物、佃煮他）の製造、販売を行っており、三陸産わかめの茎、昆布商品のパイオニアとして、味付け茎わかめ等、三陸の海産物に付加価値を付与した商品を提供していた。

しかし、東日本大震災に起因する津波により、工場・事務所・機械設備等全てが流出したため、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の活用により平成25年に工場を再建し事業を再開したが、既存債務と設備再建にかかる債務より二重ローンとなる。

二重ローン負担が重かったため、(株)東日本大震災事業者再生支援機構による事業再生支援を実施。事業再生支援の中で、さらに主要販路の喪失、事業規模の縮小による生産力の低下、およびこれに伴う売り上げの減少といった課題が判明した。このため、抜本的な事業再生支援が必要となった。

具体的な取組

二重ローン負担が重かったため、まずは機構による事業再生支援を実施。

そして、主要販路の喪失、事業規模の縮小による生産力の低下、およびこれに伴う売り上げの減少といった課題に対応するため、「岩手県よろず支援拠点※」との連携、「ものづくり・商業・サービス革新補助金」の活用、「ビジネスマッチ東北」への出展を行った。

施策1

(株)東日本大震災事業者再生支援機構による**債権買取支援**

施策2

「岩手県よろず支援拠点※」との連携による**経営体制の見直し支援**

※中小企業庁「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に基づき(公財)いわて産業振興センター内に整備されている経営相談所

施策3

「ものづくり・商業・サービス革新補助金※」を活用した**新分野への事業拡充支援**

※中小企業庁の補助事業で、認定支援機関(当金庫)と連携し、革新的な試作品の開発等を行う中小企業を支援するもの

施策4

「ビジネスマッチ東北※」への出展による**販路拡大支援**

※平成27年11月5日(木)に夢メッセみやぎ展示棟で開催された、「第10回ビジネスマッチ東北2015」(主催:東北地区信用金庫協会外)に出展

取組の成果

機構の債権買取により二重ローンが解消した。

その上で、事業者の経営体制の強化のため「岩手県よろず支援拠点」と連携、外部専門家による経営体制の検証、問題点の洗い出し、改善対応策の相談を実施。各工程に部門管理者の配置、工程のスケジュール化を行うとともに、従業員全体で事業の「見える化」を実施し、生産体制を改善した。

また、地域水産資源を活用した高付加価値商品の新開発と新たな生産体制の確立を事業目的として「ものづくり・商業・サービス革新補助金」を活用し、新分野（油脂製造業）への事業拡充を実施した。

さらに、ビジネスマッチ東北等への参加による販路拡大支援取組も行った。



くきわかめ旨塩



たつと浜だれ



「ふるっこきくらげ」※
(きくらげの醤油漬け)



たつと海老だし

※パッケージデザインは、いわてデザインネットワーク・ボランティア(i-DNet)の支援を受け、岩手県立産業技術短期大学の学生らが手掛けた。

図 ビジネスマッチ東北（施策4）への出品商品

今後の課題

水産加工品の市場は飽和状態である中、消費者からは国産原料による加工品、無添加商品と健康志向商品が求められており、調理経験の少ない消費者がより簡単に味と風味付けが出来、様々な料理に利用できる利便性のある新商品開発が求められている。

その中で、平成26年度に商品開発販売を行った商品「たつと浜だれ」が好評であり「調味料カテゴリー」への進出へ大きな可能性を得たことから、地域資源を活用した、高付加価値商品の開発販売により、震災前の売上、利益水準に近づけていきたいと考えている。



Point | 支援実施のポイント／横展開にあたっての示唆

支援実施のポイント①

二重ローンの解消を含む抜本的な事業再生支援

支援実施のポイント②

外部連携機関を活用した、経営体制強化、販路拡大の支援